

2019年9月4日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2019年9月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2019年9月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	水準は4期連続で低下し、10期ぶりのマイナス圏に。 米中貿易摩擦の影響を受けるなか、愛知県はおおむね好調を維持するも、岐阜県はマイナス圏に落ち込んだ。
景気の方角	米中貿易摩擦の長期化や円高進行懸念といった外的要因に加え、消費税増税などの内的要因もあり、先行き不透明感が増すなか、弱気の見通しが強まっている。

OKB景況指数 とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。
(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 後藤・中澤 TEL 0584-74-2631】

OKB景況指数（2019年9月期調査報告）

調査概要

- （1）調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある112支店の支店長
- （2）調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- （3）調査方法 2019年8月下旬に調査票を配付し、8月末までに回収

調査結果

景気的水準： 水準は4期連続で低下し、10期ぶりのマイナス圏に。愛知県は持ち直した一方、岐阜県はマイナス圏に。

景気の方： 米中貿易摩擦の長期化、円高進行懸念、消費税増税など先行き不透明感が増すなか弱気の見通し。

	景気的水準(2019年9月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	・景気全般は▲0.6（前回比▲3.8）となり、10期ぶりのマイナス圏に。 （支店長コメント） 自動車関連を中心に製造業では、まずまずの水準を維持しているものの、足元では自動車部品製造業など一部で受注減少がみられ、業況はまだら模様。米中貿易摩擦の長期化や日韓関係の悪化、消費税増税など、先行き不透明感が強まっており、今後の受注減少を懸念する経営者が多い。	・▲47.4と「悪化」超
県別	・愛知県では+5.6（前回比+5.6）と上昇し、プラス圏に持ち直した。 ・岐阜県では5期連続で低下し、▲5.3（前回比▲10.1）。9期ぶりにマイナス圏に。先行きに関しては、両県とも弱気の見通し。 （支店長コメント） ・愛知県は、自動車関連が牽引しおおむね好調を維持。しかし、米中貿易摩擦の影響を危惧する声が多く、先行きは不透明。 ・岐阜県は、工作機械・半導体等の製造業に加え、自動車関連の製造業も米中貿易摩擦の長期化により減速の兆しがみられる。	・愛知県は▲57.7と「悪化」超 ・岐阜県は▲38.3と「悪化」超
地域別	・愛知県では、東尾張、西尾張で上昇し、名古屋、西三河、東三河では横ばい。一方、岐阜県では西濃を除く3地域で落ち込み、愛知県と岐阜県の地域差が出る結果となった。 ・桑名・四日市は、0.0（前回比▲16.7）となった。 （支店長コメント） 【西尾張地域】 製造業、建設業などで足元業績は好調なるも、米中貿易摩擦の影響や、製造業の設備投資需要の減速感から、今後の受注に不透明感がある。 【東濃・可茂地域】 半導体装置部品製造や工作機械等の製造業を中心に、米中貿易摩擦の影響を受け、受注は減少傾向にある。	・「良化」超 該当なし ・「悪化」超 名古屋、東尾張、西尾張、西三河、東三河、岐阜、西濃、東濃・可茂、桑名・四日市
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、「雇用」が+68.1（前回比▲4.4）とタイトな労働需給は継続。「個人消費」は前回比+3.2と上昇し、0.0となった。「生産活動」「設備投資」「企業収益」「資金需要」は低下。先行きは個費消費、企業活動ともに弱気の見通し。 （支店長コメント） 「個人消費」：消費増税前の駆け込み需要も盛り上がり欠け、節約志向は依然強い。増税後の冷え込みを懸念する声も聞かれる。 「生産活動」：自動車関連を中心に製造業では、まずまずの水準を維持しているものの、自動車部品製造業など一部で受注減少がみられ、まだら模様といった状況。米中貿易摩擦の影響などから、先行きについても不安視されている。 「設備投資」：設備更新の需要は一定数あるものの、世界的な景気減速への懸念や、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化などから、先行きの不透明さが増す中で、新規・大型の設備投資は控える傾向にある。 「企業収益」：人手不足による人件費増加が利益を圧迫。原材料の高騰の影響や今後の景気減速を見据え、収益環境の悪化を見込む企業が多い。 「雇用」：全業種において人手不足であるが、特に、サービス業・製造業・医療・介護の雇用環境は厳しい。今まで外国人雇用に消極的な企業も、前向きに検討しつつある。	・「増加」超 該当なし ・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が 100、最低点が▲100 となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイント进行付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100 を乗じて算出する。

地域景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2019年9月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準 (前同比)	見通し	今期水準 (前同比)	見通し	今期水準 (前同比)	見通し	今期水準 (前同比)	見通し	今期水準 (前同比)	見通し	今期水準 (前同比)	見通し	今期水準 (前同比)	見通し
名古屋	▲ 5.9 (0.0)	➡	2.9 (+8.8)	➡	▲ 2.9 (▲8.8)	➡	▲ 11.8 (▲8.8)	➡	8.8 (▲5.9)	➡	▲ 32.4 (▲2.9)	➡	61.8 (▲14.7)	➡
東尾張	4.0 (+8.0)	➡	6.0 (0.0)	➡	2.0 (▲8.0)	➡	6.0 (▲4.0)	➡	6.0 (+8.0)	➡	▲ 14.0 (▲10.0)	➡	72.0 (▲8.0)	➡
西尾張	11.1 (+11.1)	➡	0.0 (+5.6)	➡	11.1 (+11.1)	➡	5.6 (▲13.9)	➡	8.3 (+5.6)	➡	▲ 22.2 (▲19.4)	➡	75.0 (▲2.8)	➡
西三河	25.0 (0.0)	➡	12.5 (▲12.5)	➡	25.0 (+12.5)	➡	25.0 (+25.0)	➡	25.0 (+12.5)	➡	25.0 (+12.5)	➡	75.0 (0.0)	➡
東三河	0.0 (0.0)	➡	0.0 (0.0)	➡	0.0 (0.0)	➡	16.7 (0.0)	➡	0.0 (0.0)	➡	16.7 (+16.7)	➡	50.0 (▲16.7)	➡
岐阜	▲ 2.3 (▲11.6)	➡	3.5 (+8.1)	➡	1.2 (▲12.8)	➡	12.8 (+5.8)	➡	4.7 (▲3.5)	➡	▲ 23.3 (▲14.0)	➡	74.4 (▲2.3)	➡
西濃	3.7 (+1.9)	➡	▲ 5.6 (+1.9)	➡	11.1 (▲3.7)	➡	0.0 (▲13.0)	➡	▲ 1.9 (+1.9)	➡	▲ 31.5 (▲20.4)	➡	63.0 (▲3.7)	➡
東濃・可茂	▲ 22.2 (▲16.7)	➡	▲ 11.1 (0.0)	➡	▲ 5.6 (▲11.1)	➡	11.1 (+27.8)	➡	▲ 11.1 (▲5.6)	➡	▲ 11.1 (▲5.6)	➡	66.7 (+11.1)	➡
飛騨・郡上	▲ 16.7 (▲33.3)	➡	▲ 16.7 (0.0)	➡	16.7 (+16.7)	➡	▲ 16.7 (▲33.3)	➡	▲ 16.7 (0.0)	➡	▲ 16.7 (+16.7)	➡	50.0 (▲33.3)	➡
桑名・四日市	0.0 (▲16.7)	➡	0.0 (0.0)	➡	0.0 (▲16.7)	➡	0.0 (0.0)	➡	▲ 16.7 (▲33.3)	➡	▲ 33.3 (▲33.3)	➡	50.0 (0.0)	➡
愛知県(5地域)	5.6 (+5.6)	➡	4.2 (+2.1)	➡	5.6 (▲0.7)	➡	4.2 (▲4.2)	➡	9.2 (+4.2)	➡	▲ 14.8 (▲7.0)	➡	69.7 (▲7.7)	➡
岐阜県(4地域)	▲ 5.3 (▲10.1)	➡	▲ 3.2 (+4.3)	➡	3.7 (▲8.0)	➡	6.9 (+2.1)	➡	▲ 1.6 (▲2.1)	➡	▲ 22.9 (▲12.2)	➡	68.1 (▲2.1)	➡
三重(1地域)	0.0 (▲16.7)	➡	0.0 (0.0)	➡	0.0 (▲16.7)	➡	0.0 (0.0)	➡	▲ 16.7 (▲33.3)	➡	▲ 33.3 (▲33.3)	➡	50.0 (0.0)	➡
全地域	▲ 0.6 (▲3.8)	➡	0.0 (+3.2)	➡	4.4 (▲5.3)	➡	5.6 (▲0.6)	➡	2.3 (▲0.6)	➡	▲ 19.9 (▲10.8)	➡	68.1 (▲4.4)	➡

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイント进行付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与した

ポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前同比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 見通しは「図表2 OKB景況指数「景気の方角」(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足)ー悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は➡、マイナスは➡、0は➡で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角」(3ヵ月後見通し)」(2019年12月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」ー「悪化」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「不足」ー「過剰」
名古屋	▲ 58.8	▲ 35.3	▲ 52.9	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 23.5	35.3
東尾張	▲ 52.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 32.0	▲ 52.0	▲ 16.0	16.0
西尾張	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 38.9	▲ 16.7	16.7
西三河	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 75.0	▲ 25.0	50.0
東三河	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
岐阜	▲ 41.9	▲ 60.5	▲ 37.2	▲ 44.2	▲ 60.5	▲ 20.9	14.0
西濃	▲ 29.6	▲ 33.3	▲ 29.6	▲ 25.9	▲ 55.6	▲ 18.5	14.8
東濃・可茂	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 22.2	22.2
飛騨・郡上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
桑名・四日市	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0
愛知県(5地域)	▲ 57.7	▲ 42.3	▲ 42.3	▲ 26.8	▲ 46.5	▲ 19.7	23.9
岐阜県(4地域)	▲ 38.3	▲ 45.7	▲ 34.0	▲ 31.9	▲ 52.1	▲ 17.0	19.1
三重(1地域)	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0
全地域	▲ 47.4	▲ 42.7	▲ 36.3	▲ 31.0	▲ 49.1	▲ 17.5	20.5

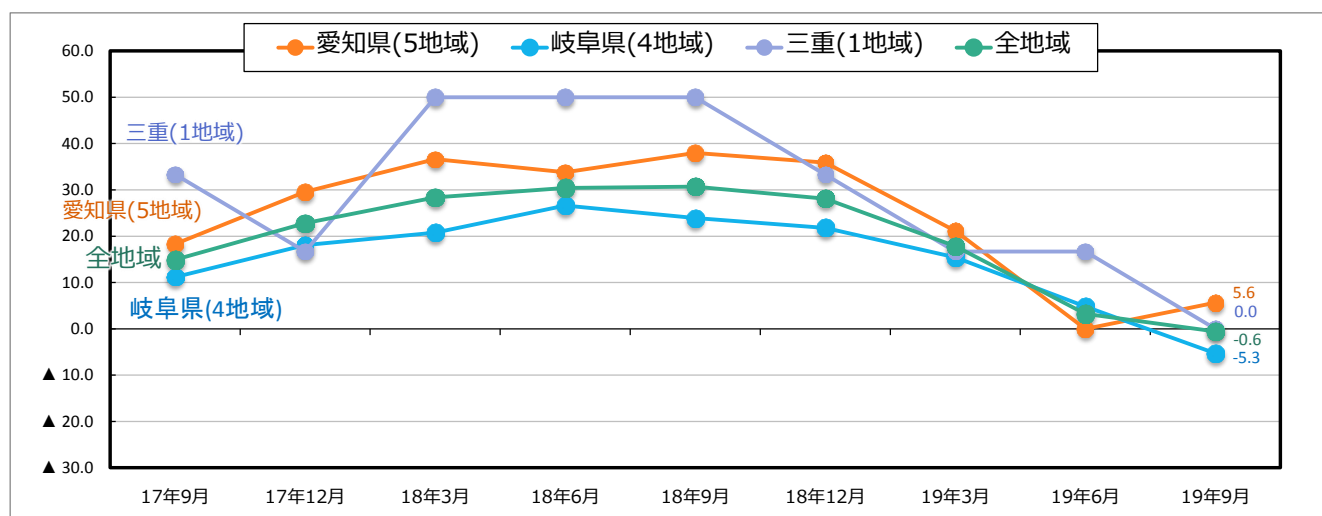
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気は今より「良くなりそう」と回答した割合(%)ー「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%)ー「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

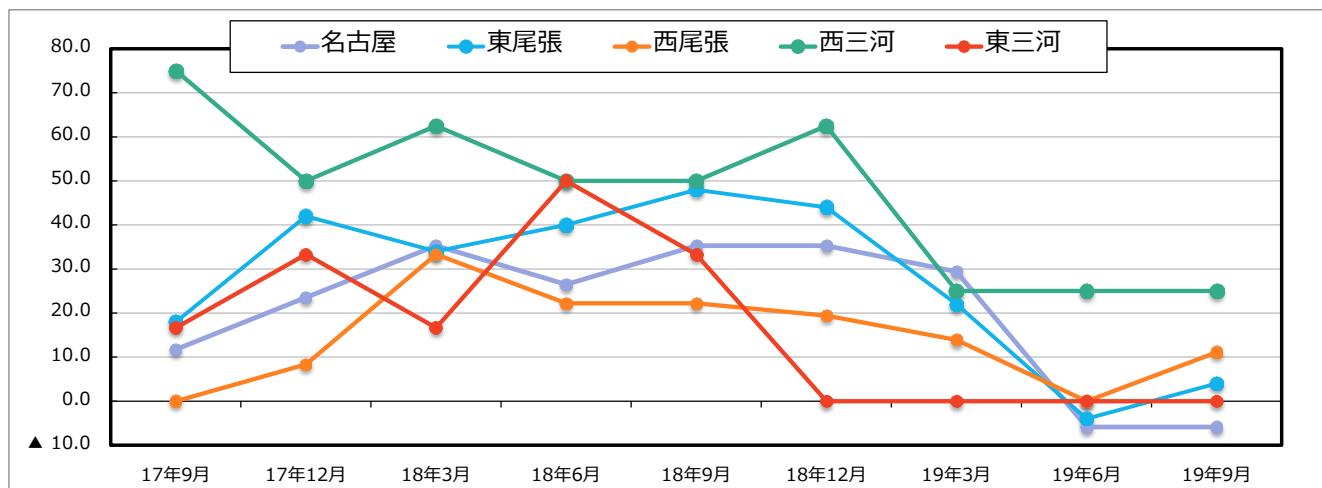
「景気の水準」の推移

■ 県別

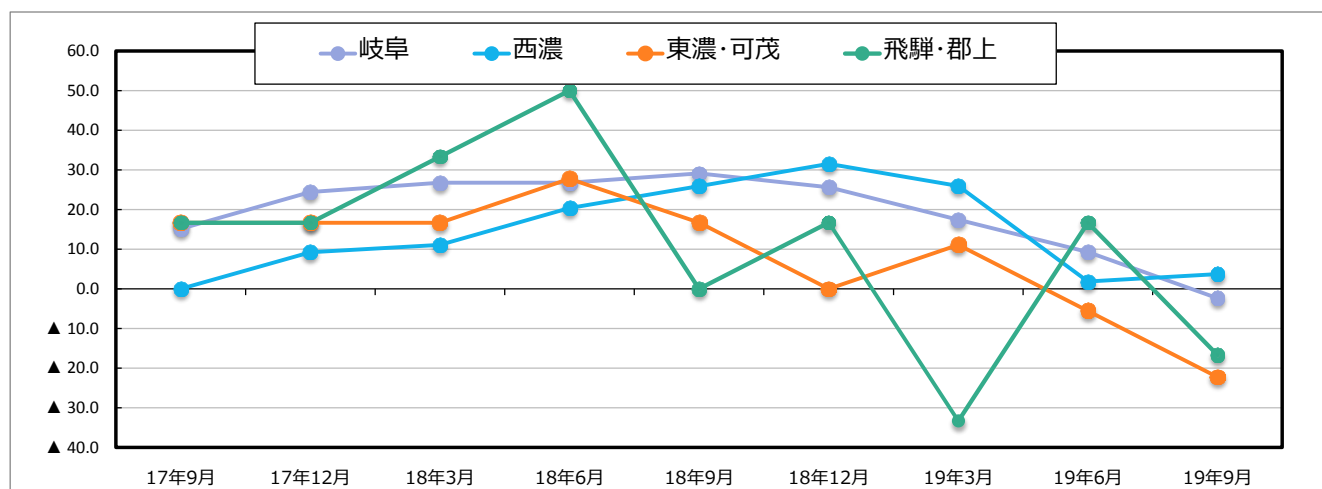


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以 上